



いわいしま通信

祝島小学校が5年ぶりに再開しました

祝島小学校に3人の児童が入学し、休校していた祝島小学校が5年ぶりに再開しました。晴天に恵まれた4月9日に入学式が挙行され、新入生のご家族だけでなく、一般の島民の皆さんも入学式に出席し、お祝いしました。入学した3名は、いずれも島に移住されたご家族の子どもたちです。ここでしっかり学び、しっかり遊んで成長して欲しいと思います。

尚、古い校舎は、耐震基準を満たしていないため、旧祝島中学校の校舎の東側に建っていた技術家庭科棟をリフォームして、新たに教室と職員室として使用します。

校長先生と担任の先生、そして3人の児童の合計5名で、新たな祝島小学校がスタートしました。



入学式が挙行されました



再開された祝島小学校の校舎

今年も山桜が見事に咲きました

毎年春に島をピンク色に染める山桜。今年は例年よりも早く、3月中旬から咲き始め、3月下旬には満開を迎えました。この冬が暖冬だったことと、一時的に雪が積もるほど強い冷え込みがあったことが、開花を早めたようです。また、例年は、咲き始めに比較的バラつきがある山桜ですが、今年は多くの山桜が一斉に開花し、いつも以上に多くの山桜が咲き揃った感じがしました。※「はっぴーあいらんど祝島通信facebookページ」にて、北野地区や三浦湾の山桜の様子を動画配信しています。ぜひご覧ください。



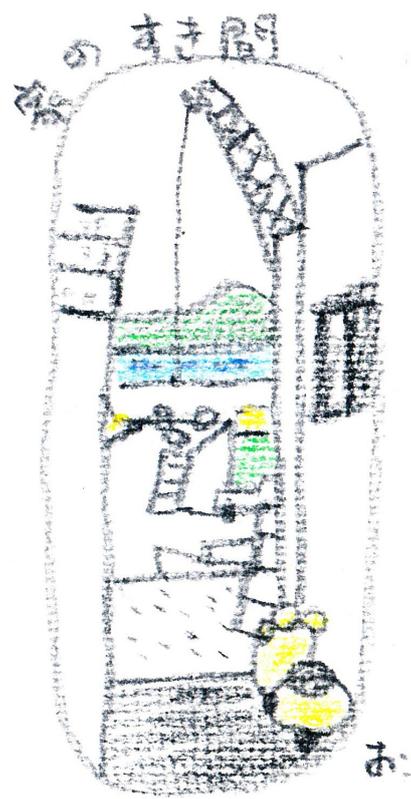
北野地区の山桜群生



山桜とびわの袋掛け

目次

祝島小学校が再開しました	1
山桜が見事に咲きました	1
祝島・記憶の玉手箱	2
会員リレーコラム	4
千客万来	6
祝島自由律俳句	7
健康食品研究会・陳皮	8
祝島の暮らし	9
映画『地理学者と島』	10
山田イサオ写真館	11
絵っきー展覧会	11
お知らせ&募集	12
編集後記	12



「祝島物語」 画・大井しげる

<連載> 祝島・記憶の玉手箱(24)

～ プロパンガス普及の歴史 ～

語り部: マー坊、つーちゃん

島のお年寄りに、毎回違うテーマで昔の祝島の様子を話していただく「祝島・記憶の玉手箱」シリーズ。今回は、長年、祝島でプロパンガスの販売店を営んでいたマー坊(78歳)と、つーちゃん(77歳)のご夫婦に、祝島でのプロパンガス普及の歴史を語っていただきました。

司会: こんにちは。先日、長い間やって来られたガスの仕事を引退されましたね。お疲れさまでした。この仕事をされてたら、いろいろとご苦労があったと思いますが、そのあたりも含めて、今日



マー坊

日は祝島のガスの話を聞かせてください。よろしくお願ひします。では、最初に祝島でガスが使われ出したのはいつ頃になるんですかねえ? マー坊のところを最初に始めたんですか?

マー坊: いいや、蛭子が一番最初じゃった。それからすぐうち(藤永)が始めて、それから石丸じゃった。

司会: 蛭子の公雄さん?

マー坊: そうそう。

司会: それがいつ頃ですか?

つーちゃん: いつじゃったかねえ、ガスが付いたのは、よそは早かったかも知れんけど、祝島はわしらが学校を卒業してからよ。

マー坊: よそもそがいには早うなあんど。プロパンガス自体が、そがいには歴史が古うなあんじゃあ。戦後に日本に駐留せちよるアメリカ軍が、ガスが要る言うんで輸入して始めたんじゃあ。

司会: へえ～。じゃあ戦後ということですよ。

マー坊: それで便利がええ言うんで、みんなが使ひだして普及したんじゃけえ。今から67年くらい前じゃあなあか思うんじゃあ。その時に輸入を始めたんが岩谷産業じゃあ。

司会: そうだったんですね。初めて知りました。

つーちゃん: わしらは、中学校を卒業してから、しば

らく大阪へ行っちゃったんじゃが、大阪から帰ってきたら、家にガスのコンロがあったんよ。「あー、ガスが付いたんだい」思った。

司会: それまではガスはなかったんですか?

つーちゃん: ないない! 家にゃあ、かまどが皆ついちゃったけえねえ。ご飯炊くのも、湯を沸かすのも、煮たりせるのも、みなそれで作りよった。今は、ガスも電気も水道もあって、そりょう思うたら、祝島もよくなったいねえ。あの頃のは今のよなガスレンジじゃあ無いよ。ガスを家の中に置いてつい据えちよったのいね。10キロのボンベをそこに置いて、ゴムホースで直に付けちよった。

マー坊: それから、屋外に出さんにゃあいけんようになって、銅パイプで付けちよった。ほいたら、メーター器を付んにゃあいけんようになって、メーター器を付けて、それから銅パイプじゃあいけんいうて、今度は今のガス管になった。

司会: なるほど。ところで、ガスの免許証は見せてもらえますか?

つーちゃん: あるある。出あて見しやはい。

司会: これは、講習の日付印ですか? 更新の記録ですねえ。マー坊の若い時の写真、まだ20代、若い!

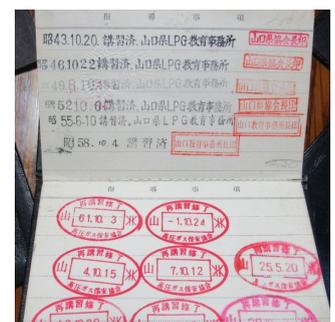
マー坊: こりゃあ昭和41年いうて書あちよる。23、24歳くらいじゃのう。あれやらこれやら途中で変わるけえ、講習受けたりしたんじゃ。

司会: ガスの仕事を始めたのはこの時?

つーちゃん: いいや、もっと前。まだ10代の時。

マー坊: 19歳くらいじゃった。一番初めなあ、みやすかったんよ免許を取るんが。ほいじゃが、法律が変わって、もう一回受けかええいうて、受けかえたんじゃあ。これがそれ。

司会: 危険物なので、だんだん厳しくなったんですね。一番最初の免許証は、もう持ってないんですか?



免許更新の記録

マー坊：無い。

司会：残念。もっと若い写真が見られるかと思ったんですが・・・ところで、ガスの仕事を始める前は何かやられてたんですか？

マー坊：油の販売をせよった。親父がやりようったけえ、そりよう手伝いよった。

司会：ガソリンとか？

マー坊：重油。漁師の船が重油じゃけえね。

つーちゃん：油を配達せるのもテラーじゃったが、テラーも燃料が重油じゃったんよ。

司会：そうなんですね。ところで、ガスの仕事を始めるきっかけは？

マー坊：蛭子がガスを始めたんは、うちが油の取引をしよったカクタスというのが上関にあったんじゃあ。今、棧橋の所にスタンドがあろう、あれがガスを始めて、それと蛭子が取引をせて、それがカクタスの祝島営業所いうのになっちよった思うんじゃあ。蛭子が。それでうちも油の取引をせよったけえ、うちも始めたんじゃあ。今も蛭子の沖にガスの倉庫があるじゃろう。ありようすぐ作ったの。ありよう作らんじゃあいけんけに。

司会：専用の倉庫が必要だった？

マー坊：「容器置場」というのが無けりゃあいけんけえ。

司会：そういえば、祝島のガスボンベは皆小さいですよ。

マー坊：そりゃあ、大きいのは運ぶのが大変じゃけえ。祝島のは10キロのボンベじゃね。よそは20キロや50キロがあるけど、そりゃあ祝島じゃあ無理よ。船へ積んで、降ろして、配達して、上の方の家に持って階段を上がるいうたら大変いね。

司会：そうですね。

マー坊：10キロが精一杯よ。アルミのボンベなら、ちっとは楽じゃけど、値段が高いけえねえこりゃあ。それに、有効期間は同じ、腐らんい



10キロのプロパンガスのボンベ

うたといて同じじゃけえ。

司会：ボンベに期限があるんですか？

マー坊：あるよ。有効期間は6年。それで、検査したら

もう6年延長できるが、それ以上は無理じゃろう。

司会：ボンベが空になったら、上関に送ってガスを入れてもらうんですか？

マー坊：今のやり方は、向こうの充填所にボンベを先に置きよいてガスを入れてもろうちよいて、こっちのがみてたら空のボンベを持って行って交換。そうせんじゃあ、充填せるのに時間がかかるんじゃあ。

司会：なるほど、そうした方が効率的ですね。船で運搬するのは、自前の船？それとも運送業の船に頼んでたんですか？

マー坊：最近では清水丸じゃったけど、昔は、土井（祝興丸）と福本（紅葉丸）が運送業をやりよったけえ、そこに頼みよった。

司会：ガスが切れたら、早朝でも夜でも呼ばれたりするので、大変だったでしょう。

マー坊：みてもええように、予備も併せて2本ずつ置きよるんじゃけど、よう使う家は使うけえね。

つーちゃん：最近では、割合ガスを使うよ。湯沸かしを付けちよるとこやろ、商売する家やろ。ほいじゃが、一般の家でも使う家は使うよ。じゃけえ、ガスの商売は、留守がでせんいねえ。

マー坊：ガスの商売をせよーたら、島を留守にするというのが出来んけえ、あれがせんなかったの。どっちかが島におらんじゃあならんけえ、二人で出かけたいうなあ、娘の結婚式の時だけじゃあ。引退せたらあっちこっちへ旅行に行こうか思うちよったんじゃが、コロナでどこにも行かれん。思うたようにいかんもんじゃのう・・・。

司会：そうですね。コロナが落ち着いたら、ご夫婦でたっぷり旅行を楽しんでください。今日は貴重なお話、どうもありがとうございました。



今も使われているLPガス容器置場

このコーナーは「祝島ネット21」の会員の皆さんに、自己紹介を兼ねて簡単なコラムを書いていただくコーナーです。今回は、福岡県にお住いの中川真佐美（なかがわ まさみ）さんです。



写真右が中川真佐美さん

一緒に祝島に行った友人と撮りました。
赤いスカーフをしているのが私です。
(3月23日 福岡県中間市にて)

初めまして

祝島ネット21会員名簿の最後に載っています中川と申します。

1957年、京都市東山区で生まれ、18歳で北九州へ、結婚して筑豊に移り、現在に至っております。

初めての祝島

初めて祝島を訪れたのは娘が小学校に上がる前年でしたので、1989年です。原発問題に取り組んでいた友人K氏に誘われ、3家族8人(子どもは、私の娘と、6歳上の娘さん)で漁船をチャーターし、島に渡りました。発起人であるK氏が船酔いし、下痢をしてお尻を拭いたペーパーが波間を漂っていた(失礼!)ので、その時の船が、トイレもない小さな漁船だったことは間違いありません。民宿に一泊、島を散策、お土産をたくさん買いました。

星塚敬愛園

「北海道アイヌと一緒にハンセン病療養所を訪ねる(恐らく日本で初めて)ツアー」を前出のK氏が企画され、鹿児島県の星塚敬愛園に行ったのは、1994年に萱野茂さんが、アイヌとして初めて国会議員になられた年位です。福岡空港に迎えに行き、下りてこられた4人のアイヌの方のおひとりの女性の目がグリーンに近かったことが印象的でした。とても美しい方でした。

星塚敬愛園は、ひとつの開鎖された空間。何もかもそろっていて、その中で人生が完結する。お墓と火葬場がありました。私達が行った時は、もう、空き家が多かったのですが、一軒家の表札は本人の姓ではないと。人生を捨てて、別人になって園に入られたのですね。

交流会では、アイヌ料理がふるまわれました。隣に座った指の無いおばあちゃんが「この指は病気でとれたのではない。ハンセン病は抹消神経の感覚が鈍る。それなのにきつい畑仕事をさせられた。あの時、治療を受けていたら私の指はなくならなかった」と言われた言葉が胸に刺さりました。園で一泊、忘れられない旅になりました。

再びの祝島

2011年の地震と津波。このあたりからの記憶は間違いがない、と思います。

津波で電源喪失、原発の危険性が暴露され、日本中の原発が止まった時があります。その時の日本の様子は、原発の問題より、節電が主になっていたと思います。我が町も、「玄海原発が停止しているから、大停電が起こる可能性がある」という方向で話がなされ、節電のノウハウが語られました。原発のことを知って貰いたく、福島から被災者を招き、講演会をしました。近所の友人を誘って、数人で用意をし、チラシを500枚ほど配布しました。当日、50人ほど来てくださり、いい集会ができました。その後、集会の用意してくれた友人たちと祝島に行く計画を立て、男2名、女3名で、(この時は立派なフェリーで)来島しました。

目的の一つは、月曜デモに参加すること。夕方、旅館を出発、すでに暗くなった足元を照らしてくださったのが駐在さんだと、後で知りました。「原発絶対はんた〜い」に続く「エイエイオー」の掛け声とともに、迷路のような練塀を海岸まで歩きました。近い記憶と言っても、10年近く前になります。その時一緒に行った方は、一昨年84歳で亡くなりました。

最初に祝島と一緒にいった娘さんはアメリカ人の予備校講師と結婚し、東京に住んでおられましたが、福島事故があつてすぐ、本国から帰国命令が下り、アメリカに行ってしまうわれました。当時の東京は、人が住めない、というのがアメリカ政府の認識であったみたいです。

上関原発を建てさせない県民大集会

2014年3月10日「上関原発を建てさせない県民大集会」に参加しようと思い、周りに呼び掛けました。隣の町会議員さんがマイクロバスの運転をして下さり、20名ほどで参加することが出来ました。出発の際、たくさんの友達が「気をつけてね」と声を掛けてくれました。その中には「上関の工事を請け負っている。半端じゃない大きな仕事だ。早く工事が始まってほしい」と言っておられた業者さんもいらっしゃいました。また、後に、議員さんは「私は原発は必要だと思っていたが、考えを変えた」と言われました。

父のこと

最後に、父の話をします。

父は昭和3年生まれ、戦争末期に特攻隊に志願したけれど、数日前に締め切りになっていた、と子どもの頃、よく聞かされました。

結婚して、小さな鉄工所を母と始めましたが、商売が下手で、私達はいつも貧乏でした。母が死に、しばらく一人で仕事をしていましたが、60も過ぎ、鉄工所をたたみました。

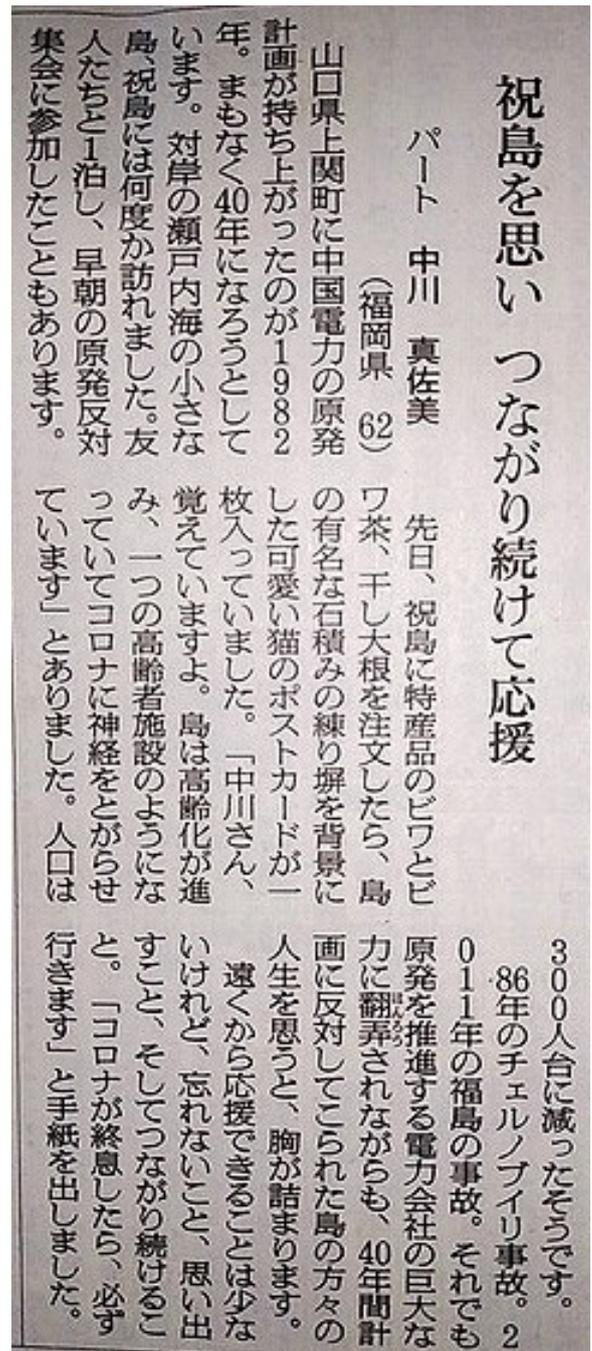
以下は京都に父を訪ねた時、話してくれた事です。

「何もせんで家にも退屈やさかい、シルバー人材センターに登録して、初めての仕事に行ってきた。お墓の掃除やった。みなベテランさんで、教えてもらうことばかりやった。仕事が終わって帰り際、ものすごく汚いお墓を見つけた。家に帰ってからも気になっ

てしようがない。次の日、掃除道具をもって、バスに乗ってお墓に行き、ピカピカに磨き上げて、下草もきれいに刈ってきた。どなたが入っておられるのか知らないが、これでさぞ、さっぱりなさったことだろう」嬉しそうに語る父に、言葉をなくしました。

父は、4年前、他界しました。父のもとに生まれたことを幸せに思います。

長い自己紹介になりました。どうぞ、よろしくお付き合いください。



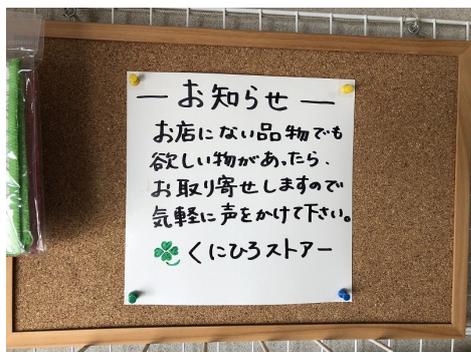
朝日新聞の『声』(2020年7月9日)に掲載された投稿記事です

桜の早い春でした。三浦へ向かう道沿いには菜の花が風に揺れ、北野の山桜が花火のように咲き誇り、山々は濃淡のピンクで染まっていました。

くにひろストアは、このところ、午前9時開店、午後1時には閉店して、山に行ったり、畑に行ったりの毎日です。2月に甘夏をもぎ終えてからは、ピワの下草刈りをしつつ、旬のつわ（ツワブキ）を採ったり、蓬の新芽を摘んだりしています。看板に営業時間を貼り出し、「準備中」の札を掛けてはいますが、いまだ午後来られるお客さんも居られ、申し訳ないのですが、ピワの袋かけが始まったので、これからいっそう、午後の山行きが頻繁になってしまいそうです。

お店の仕入れですが、最近は注文を受けて仕入れる、または買うて来る・・・ということも多くなりました。これはよお売れるからと思っていっぱい仕入れてしまうと、案外期限を切らせてしまい、自家消費となってしまうことが多くなったからです。自家消費は、お店の損失になるだけでなく、少くも期限が切れても大丈夫、と残り物を食べてばかりいると、結局二人で太ってしまう＝健康に良くない、という方程式に困ってしまうのです。実際、各々注文してもらった方が、お店としては確実に買ってもらえるという利点となり、お客さまは、来店された時に欲しかった物が売り切れて残念に思うことがなくなるので、両方にとって嬉しいことです。

注文を受けて仕入れるものには、サンドイッチ用のパンがあります。日持ちしないのと、サンドイッチを作る人が他にはまずいないからです。そのパンを注文される時はたいてい、キュウリとトマト、チーズも一緒に注文されるので、喜んで買って利益もアップ！大



お店にないものは買ってきます

助かりです。そのお客さんは、マメにいろいろ料理する方で、ラーメンも生ラーメンを買われますし、びっくりなのが「鶏ガラ」まで欲しがられること、市販のラーメンスープでは物足りないのだそうです。楽しい方なのですが、本当に耳の遠い方で、ちゃんと話をしようと思うと、とっても大きな声で話さなきゃいけないくて、当然店の外まで話が筒抜けに。「やっぱり！あなたの声がする思うたわぁ」と言いながら次のお客さんも仲間入り。少々耳が遠かろうが、目が見えませんが、ちょっとくらいボケても、皆あんまり気にせずに笑いながら、買い物を楽しんでおられます。

時にはサプライズで、美味しそうなケーキや旬の果物を仕入れてみたりもします。先日も、めずらしく、イチゴの香りに惹かれて、1箱（4パック）仕入れてみたところ、2パックはすぐに売れましたが、そのあと翌日になっても売れず、翌々日、やっと「うら、イチゴがあるねえ。まあまたにしようか。また入るんじゃない？」とおばちゃんが訊くので、「たぶん、もう入らんよ。要るんなら今、買うちよいて」と笑うと、「ほーかね、なら買うちよこう！」と1パックお買い上げ！最後の1パックは、傷んだらもったいないので、早々に自家消費としました。

そういえば、あわしま堂の小さい和菓子のパック（桜餅、よもぎ餅、おはぎなど）をよく仕入れます。1パックは余っても、うちで食べればいいね、と3~4パック頼むのですが、うまく1パック残ることが多く、全部売れたらラッキー！みたいな感じの中で、唯一「柏餅」だけは、うちの分も！と余分に注文してもなぜか売り切れてしまうのが、くにひろストア七不思議の1つです。

いまだにブームの続く同級生のお父さんの「丸ぼーろ」。10枚入りのを、たいてい3袋、多いときは5袋買うていかれます。「お酒のつまみにちょうどえんじゃ〜」とのこと。確かに・・・帰省するときの同級生のお土産は、いつも甘くて美味しいものが常、おじちゃんも気に入っているとか・・・あれもお酒の友じゃったんじゃあと納得した次第です。

じつはこの丸ぼーろ、最初に勧めたのはわたしでした。昨年おじちゃんが買い物に来てくれた時、欲し

かった物がたまたまなくて、それでも西方の上の方からはるばるここまで来てくれたのが申し訳なくて、手



「丸ぼろ」ブームはいつまで続く？

渡したのがこのお菓子だったのです。それからというもの、わざわざ丸ぼろのために、くにひろストアまで来てくれるようになりました。その経緯を知るおばちゃんは、「また、ありよう買いに来たかね。あんたが勝負せたのや」と笑います。祝島で「勝負した」というのは、得をした、儲けた、そんな意味で使います。「そうじゃろ～あはは」と笑うわたしの目尻には、今日もまた、しわが増えた気がします。

4月15日、開店4周年を迎えたくにひろストア。これからも、お客さんの要望に応じて頑張りたいです。

祝島自由律俳句(5)

山口県防府市出身の俳人・種田山頭火。彼の作った俳句は、五七五の定型にも、季題にもとらわれない自由な表現が特徴の自由律俳句といわれています。このコーナーでは、読者の皆さんから「祝島」をテーマにした自由律俳句を投稿していただき、毎回その中から何句かを紹介させていただいております。

神舞は鎮まり待つや枇杷の花
甘夏よ美味しくなあれ磨く磨く
菜の花や土の恵みの仕事する

篠崎 彰

田ノ浦の波キラキラ山笑ふ
浜で食う日替弁当さより揚げ
小祝島(こいよう)と同じ夕陽の遅日かな

篠崎 幸恵

やってもやっても終わらぬ枇杷の袋掛け
石垣をひょいと飛んだつもりが膝を打つ
嫁が爪染める石踏の春

國弘 秀人

やめようや 相言いつつも 手を止めん畑の二人
あたり一面緑色 よもぎ摘む香りに 相好を崩す
今日もまた ダイヤモンド小祝を 特等席で観る

國弘 優子



コロナよ飛んでいけ～ 祝島に帰りたいと 孫達が首を長くして待っている
コロナ禍の中 満開の祝島桜 綺麗だろうと思いをめぐらす

吉原 妙子

読者の皆様からの投句をお待ちしております。テーマは「祝島」です。応募は、メールまたは郵送にて、応募作品／作品についてのコメント（あれば）／名前（ペンネーム可）を記入して事務局までお送りください。メールのあて先は haiku@iwaishima.jp です。

<連載> 祝島・健康食品研究会(5)

～ 陳皮(みかんの皮) ～

祝島には、健康にいいと言われる植物がたくさんあります。そのような植物の効能や取り入れ方を紹介する「祝島・健康食品研究会」。今回は、みかんの皮を乾燥させた「陳皮(ちんぴ)」を取り上げてみました。

「陳皮」とは、みかんの皮を乾燥させた漢方薬のことです。冬にみかんを食べて剥いた皮を干せば、いくらでも作れると思いきや、一日二日干したものは陳皮とは言わないようです。「陳」は「古い」という意味で、「陳皮」とは熟したみかんの皮を3年以上乾燥させたもののこと、3年以内のものは「果皮(果物の皮)」と言うのだそうです。また、熟す前の青いみかんの皮を干したものは「青皮」と言います。



乾燥中のみかんの皮

※諸説あります。

陳皮には下記のような効能があります。

◎リラックス効果

「リモネン」という香り成分が含まれていて、これは柑橘類全般に共通する成分。爽やかな香りが特徴で、リモネンが体内に入ると脳内にα波が現れ、リラックス効果が得られる。

◎血流アップ・冷え性対策

ポリフェノール的一种「ヘスペリジン」を含み、これは活性酸素に作用することで、一酸化炭素の分解を防ぎ、酵素を活性化させ、血管を広げて血流を良くする効果が期待できる。これにより血流が滞ることによる冷え性の対策につながる。

◎アレルギー症状の緩和

花粉症などのアレルギー症状は、体内のマスト細胞(肥満細胞)の過剰反応により引き起こされる。「ヘスペリジン」は、マスト細胞に働きかけることで炎症などが抑えられ、アレルギー症状の緩和につながる。

◎胃腸の健康維持

胃腸の調子を整えることにより、消化不良・吐き気・胃酸過多・下痢などといった消化器の不調を抑制する効果が期待できる。

陳皮をどのように取り入れれば、健康に役立つか、簡単なものを紹介します。

◆陳皮茶

陳皮10gをよく洗い、細かく切り裂いたものを茶碗に入れる。熱湯をついで10分ほど置き、陳皮を取り出し、砂糖を少量入れる。冷めたら冷蔵庫などに入れ、常飲すると咳止め・痰止めや胃を丈夫にする効果あり。ただし、陳皮は薬膳でいう「温」の性質を持っているので、のぼせやすい人は避けた方がいい。

◆陳皮粥

陳皮10gをよく洗い細切りにして煎じる。煎じたものを米100gと一緒に煮てお粥にする。または、陳皮を細かく砕いて粉状にし、粥を作るごとに3~5g入れて煮込む。胃を元気にさせたり、腹部膨満感の解消や咳止めなどに効果あり。

◆入浴剤

陳皮を2cmほどにカットし、目の細かい洗濯ネットに入れ、お湯を入れた浴槽に浮かべる。また、完全に乾いた皮でなくてもOK。リラックス効果あり。

◆育毛剤

よく水洗いした2種類以上の柑橘(温州ミカン、甘夏、八朔、伊予柑、レモンなど)の皮を、オレンジ色の部分だけ薄く細長く剥く。50g以上をザルに広げて数日カラカラになるまで陰干しする。瓶に入れて、ホワイトリカー35度を150cc注いで蓋をして冷暗所に一週間置く。皮を取り出して、さらに2週間、冷暗所に置いたら完成。その後は冷蔵庫で保管し、2ヶ月くらいで使い切る。1日2回、朝晩、薄毛の気になる地肌に、4~5滴振りかけて指の腹で5分くらいマッサージする。

<陳皮(果皮)の作り方>

- ① みかんの皮を剥いて、水に数時間ひたしておく。
- ② 日があたる場所で、ざるやネットに入れて天日干しにします。夜になったら取り込み、カラカラになるまで一週間ほど干せば完成。

※最初と比べると、2~3割の量になるので、細かく刻んでおくと使いやすい。すぐに使わないなら、さらに干す。数か月~3年、干せればベスト。

※薬味やお茶で使うときは、ミキサーで粉状にして、ガラス瓶に、湿気に気をつけて保存する。

会員アンケートの中に、今の祝島での生活の様子を知りたいというご希望がありましたので、今回から少しずつ紹介していきたいと思います。1回目の今回は、島の生活に欠かせない「定期船」についてです。



定期船「いわい」

現在、祝島と本土との間を結んでいるのは、定期船「いわい」です。「いわい」は、本土側の室津に停泊しているので、早朝6:10に室津をスタートして祝島まで直行します。それから、四代(しだい)・蒲井(かまい)・上関・室津の各港に寄港しながら祝島～柳井港間を2往復し、夕方の最終便(3便)が祝島を17:05に出て室津まで戻ります。従って、祝島～室津間は3往復、祝島～柳井港間は2往復ということになります。



祝島航路

乗船料は、祝島から室津までが大人930円、柳井港までが大人1610円で、子どもは半額です。ちなみにペット(犬、猫)もカゴに入れた状態なら、子どもと同じ料金で船に乗せることができます。

定期船「いわい」は、人だけでなく、島の生活に必要なさまざまな荷物を載せて運航しています。

祝島行			室津・柳井港行		
柳井港	—	9:30 15:45	祝島	6:45 12:30 17:05	
室津	6:10 10:00 16:15		上関	7:20 13:05 17:40	
上関	↓ 10:05 16:20		室津	7:25 13:10 17:45	
祝島	6:38 10:40 16:55		柳井港	7:55 13:40	—

定期船時刻表(四代・蒲井は省略)

◎新聞

新聞は早朝の便に載せられますので、朝7時頃には島の家庭にも新聞が届きます。

◎郵便物(ゆうパック含む)

島への郵便物は10:40祝島着の2便に乗ってやって来ます。祝島郵便局で整理して、お昼頃から夕方にかけて各家庭に配達されます。島からの郵便物は、午前中に郵便局に出したものは2便(12:30祝島発)に、午後に出したものは3便に載せられて室津まで送られ、集配局である上関郵便局に集められます。

◎宅配便

島に送られてくる宅配便は、2便または3便に載せられて届きます。島の港に届いた荷物は、自分で港まで取りに出てもいいし、取りに出なければ祝島宅配所が家まで届けてくれます。港から家までの配達基本的には有料になります。配達料は例えば15kg以下の荷物は1個150円、15～25kgなら1個200円です。ただし、クロネコヤマトで送られた荷物の場合は家までの配達料は無料です。また、利用する宅配会社によっては、船賃が追加で別途かかることもあり、これは荷物を受け取る人が負担します。

島から外へ宅配便を送るには、港(祝島宅配所)まで荷物を持って出て、クロネコヤマトで送ることになります。1便または2便で送ることができます。

◎港止めの荷物

定期船の寄港する港止めで荷物を送ることもできます。この場合は、船の運賃だけがかかります。小さい封書などは160円、5kg以下の荷物は210円、5kg～15kgなら320円、15kg～20kgは370円、などと重さによって料金が決められています。大型の荷物の場合は、品目ごとに、例えば自転車は630円、原付バイクは1250円、洗濯機は1250円などと決められています。ちなみに、送り先の港はどこでも同一料金です。祝島の港に送った荷物を家まで運んでもらうと、宅配便と同じように港から家までの配達料がかかります。

定期船の定休日は年間で元日の1日だけ。それだけ島の生活にはなくてはならない存在なのです。台風や大シケの時に欠航することはありますが、雨の日も風の日も、私たち島民のために頑張って運航してくれる定期船「いわい」と、定期船の船員さんたちに感謝です。

この映画の主人公フィリップさんと、初めてお会いしたのは、2012年6月でした。民宿を継いで2ヶ月目という新米若女将のわたしは、フランス人のお客さまが宿泊されるということで少なからず緊張していましたが、フィリップさんの日本語は、あまりにも堪能で、拍子抜けしたほどでした。3泊され、一時も無駄にしたいかのように、島中を歩き回り、いろいろな人に話を聞かれたようでした。地理学者さんとはどんなことをされるんだろうと思っていましたが、奇抜にも、まだ6月だというのに海で泳いで来られたかと思えば、民宿を出たり入ったりされるたび、小さなことでも質問され、熱心にしっかりメモされ、明敏な方だと感じました。

最終日、後にも先にも、朝食で焼きたてパンをお出したのは初めてでしたが、この前日は秀人さんが本土泊まりだったので、一人でバタバタ準備をしていたため、わたしは大変な失敗を！朝便を控えての超早い朝食、サラダとベーコンエッグにパン＆コーヒーという献立のつもりが、朝食を終えてフライパンの蓋をあけると、そこには忘れられた目玉焼きがあり、冷や汗タラリ。やむなく、出し忘れた目玉焼きをパンにはさんで簡単なサンドイッチにして、朝便見送りの際にお持たせしたのでした。わたしの言い訳がましい謝罪にも、「大丈夫、大丈夫。ありがとございます」と笑顔で手を振って帰って行かれたのでした。

そんな忘れられない思い出のフィリップさんとの再会は、2016年の8月。フィリップさんと一緒にクリスティーナ監督とスワンカメラマンの3人が映画の撮



左からフィリップさん、クリスティーナ監督、スワンカメラマン

影のため、祝島を訪ねて来られました。神舞準備中は民宿休業、神舞開催中は伊美のみなさんの宿舎となっている民宿くにひろは、一般の方をお泊めすることができず、3人の宿泊もお受けできず残念でしたが、どこに行っても一生懸命な3人の姿を見かけていました。じりじりと暑い

中、日本語がよくわからない2人に、フィリップさんがフランス語で細かく通訳され、顔きながら、とても活き活きと撮影されてたのを思い出します。



撮影風景

2018年、フランスを皮切りに、ヨーロッパ、カナダ、韓国など世界各地の映画祭で上映され、トルコのボスカダ国際環境映画祭では審査員特別賞を受賞した、この映画。日本でも広島映画祭で上映され、2019年には全国で上映会が開催されるはずでした。しかし、このコロナ禍で、3人ともフランスから来日することもかなわず、今回期日限定ではありましたが、Asuka協会の方々がネット配信をしてくださって、多くの方に観て頂くことができました。

外国の方が、島をどんなふうに映像にまとめられるのか、とても楽しみでしたが、期待した何倍も素晴らしい作品になっていて、本当に感動しました。原発というテーマは重いものだし、哀しいかな、地元では口にづらい微妙な問題で、きれいごとを並べたり、当たり障りない言葉で片づけたりしがちなところを、この映画では、大切なテーマとして捉え、粛々とつぶやかれるのを聞きながら、大切な言葉が心にゆっくり落ちてきました。一方、普段通りの島の暮らしをありのまま見せてくれてる中にも、メリハリがあって、祝島の関係者が観られた時、きっと喜ぶだろうと思われ、本当に嬉しかったです。たくさんの島の人映っている中で、祝島ネット21の会員さんのお顔もちりりほらり・・・それも楽しいことでした。

全世界のみなさんが、広島と並べて撮影された祝島を知ってくださったであろうこと、クリスティーナ監督とスワンカメラマン、そして主演のフィリップさんに感謝したいと思います。願わくば、コロナが収まり、3人が来日できるようになったら、祝島での上映会に来て、ぜひご挨拶の言葉をお聞きしたいものです。

山田イサオ写真館(16) 『田植えの頃』

山田 イサオ

このコーナーでは、写真家で祝島ネット21会員の山田イサオさんの写真を毎回1枚紹介しています。山田イサオさんはモノクロ写真にこだわり、祝島では人物を中心に撮影をされています。

『田植えの頃』

5月の頃、小学校の田植え体験学習があると聞いて、自転車を飛ばして三浦へ向かった。

上関から外国人の先生も田植えに参加していた。

犬のマキも、水遊びしたように、みんなを見つめていた。



絵つき一覧覧会(33)

『光明寺の脇の小道から、練塀と山桜』

エッキー浴野

今年も春が巡ってきました。

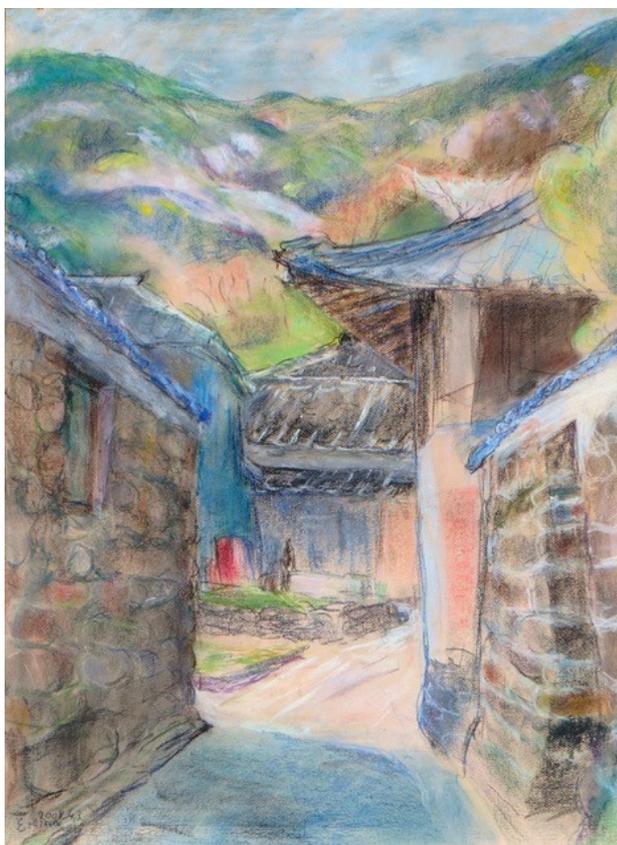
祝島の小道を、潮風、海風、山風、そして島の方々の生活の息吹が通過してゆきます。

一千年の昔から、さらに何千年にも渡って・・・。

山は桜色に浮き立ち、麓に降り注ぐ風にも桜色を感じます。

ありがたいことです。

今年もそんな季節がやってきましたよ。



『光明寺の脇の小道から、練塀と山桜』

パステル画 B2サイズ

お知らせ & 募集

■祝島ネット21会員 オンライン交流会開催のお知らせ

コロナウイルス感染予防のため、なかなか皆さんに祝島に来ていただけないし、会員同士の交流もままならない日が続いています。そこで、Web会議システム「Zoom」を使って、会員オンライン交流会を開催してみようと思います。オンライン交流会開始時には、祝島ネット21のメーリングリストに招待メールを流します。招待メールの中にはZoomミーティングのリンク先とミーティングID、パスコードが記載されていますので、それを使って参加してください。（メーリングリスト未登録で、参加希望の方はメールアドレスを事務局にお知らせください。）
★1回目の交流会は5月12日（水）の夜9時から開催する予定です。練習も兼ねて、ぜひご参加ください。

■ドキュメンタリー映画『地理学者と島』の有料配信とDVD販売についてのお知らせ

映画『地理学者と島』は、現在、下記のサイトで有料配信およびDVDが販売されています。

<https://www.filmsdocumentaires.com/films/7356-le-geographe-et-l-ile>

ただし、いずれもフランス語版になりますので、フランス語の字幕が入っていると思います。映画のナレーションはフランス語ですが、インタビューはほぼ日本語ですので、だいたいの内容はわかるのではないかと思います。フランス語版でも観てみたいという方は、ぜひアクセスしてみてください。

■2021年度の役員が決まりました

祝島ネット21の2021年の役員が以下のように決まりました。皆さん、昨年から引き続き役員を引き受けていただきました。また1年間、よろしくお願いいたします。

◎会長：重村雅之

◎会計係：國弘優子

◎副会長：黒磯達則

◎監査係：坂本正幸、吉原信一郎

◎事務局長：國弘秀人

編集後記

コロナウイルスの感染拡大がいまだに収束せず、祝島自治会から不要不急の来島自粛要請が出されてもう1年が過ぎました。これから、ワクチン接種が進み、感染が1日も早く収束してくれるのを祈るばかりです。

祝島ネット21の活動も、なかなか思うようにできない日々が続いています。にこにこ農園のピワは今年はせっかく豊作なのですが、皆さんに手伝いに来てもらえなくて残念です。今は、ちびりちびり袋掛けをやっています。夕方まで作業すると、小祝島に沈む綺麗な夕陽を眺めることができます。とても贅沢な時間です。ピワの収穫まであとひと月、収穫出来たら会員の皆さんにもお分けできると思います。お楽しみに。

今年実施した会員アンケートで、コロナ禍でも、オンラインで会員同士の交流ができるのではないかと、提案がありましたので、このたび実施してみようと思います。最初は慣れないかもしれませんが、一緒に練習しながら楽しみましょう。皆さんぜひご参加ください。

次号の発行は8月～9月を予定しています。どうぞお楽しみに！

（編集長：國弘秀人）

※事務局では会員の皆さんからの投稿をお待ちしております。投稿はホームページからも

可能になっておりますので、ご意見・ご感想など、お気軽に投稿してください。

※祝島ネット21では随時会員を募集しています。会費は1年間6000円です。

入会ご希望の方は事務局までご連絡ください。

祝島ネット21会報「いわいしま通信」第64号

発行日：2021年4月26日（頒価400円）

発行者：祝島ネット21事務局

〒742-1401 山口県熊毛郡上関町祝島

ホームページ <http://www.iwaishima.jp/inet21/>



ダイヤモンド小祝